

市町村指定文化財取材票 《表》

取材日	2023年	6月	17日	(記入者) 垣内博久	
取材参加者	小倉	垣内	久門	小西	島田
取材対象先	天理市：苜原(ちしゃわら)町の木造不動明王立像				

所在地	天理市苜原町1221				
所有者(取材 対応者)名	檀家総代 ***様		連絡先 ***		
	PCアドレス				
取材申込	申込先・行政名など：檀家総代 ***様、区長 ***様				
市町村 指定文化財	彫刻	1躯	木造不動明王立像 2002(平成14)年3月26日指定		
	建造物	点			
文化財指定理由	頭部が小さく、腰や四肢を太く表した像容で、体躯の肉付けに柔らかみがあり衣紋も浅く整えられていて、平安時代後期の制作と推定される。				

文化財の状況

	設備・対策・点検・通知方法など	記入者の感想
防火対策	火災報知機等の設備はないが、本堂は1989(平成元)年の建築で普段は火気もなく問題はないと思われる。近くに消防車を収納した消防団の保管庫がある。	特になし。
獣害対策	被害の有無、対策など	記入者の感想
	周りは山なので、イノシシ、アライグマ、シカ等の被害があるが、本堂については問題はない。	特になし。
保存～継承 へ 苦労と 今後の課題 と対策	大念寺の清掃や管理は当番制で檀家が勤めているが、高齢化、過疎化でだんだん負担になってきている。木造の十一面観音立像も安置されているが損傷が激しく、右手が後補、左手がとれており、頭上面も失われている。12世紀後半の作であるが、修理の目途はない。	

取材を終えて感じた文化財保護状況と今後の課題(修復、維持、管理、環境など)

檀家総代の3名の方にお話を伺ったが、知識が伝わっていない面もあるようで、十一面観音像もこちらが指摘して存在に気付かれた。寺は非常に綺麗に維持されており、ご苦勞を感じる。
--

市町村指定文化財取材票《裏》

取材日	2023年	6月	17日	(記入者) 垣内博久	
取材参加者	小倉	垣内	久門	小西	島田
取材対象先	天理市：苜原町の木造不動明王立像				

〈写真撮影許可済み〉

文化財指定名 木造不動明王立像

文化財 (正面写真)	文化財 (角度を変えて、写真)
	
文化財 (安置状態の全体写真)	大念寺
	
文化財の由緒などを記入	所有社寺や地域 (廃寺等) の歴史や特徴を記入
檜の寄木造りで平安時代後期、傍らの二童子、光背、台座は江戸時代の作である。本尊は阿弥陀如来像で、その由来は不明である。	苜原町は以前は37軒ほどであったが現在は25軒。所有する大念寺は現在は檀家が当番制で管理している。